

加賀電子株式会社  
2023年3月期（第55期） 第3四半期 決算

主な質問と回答

決算発表日： 2023年2月7日（火）

<ご留意事項>

「主な質問と回答」は、当社の判断でポイントのみ簡潔にまとめたものであることをご了承ください。

また、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご了承ください。

**質問：第2四半期に比べて、第3四半期で減益となった理由は何か。**

回答：半導体・電子部品の需給ひっ迫が落ち着いてきたこともありスポット販売は減少しましたが、その分、広範な業界で生産が回復しており、販売が好調に推移しました。しかしながら、「インフレ手当・一時金」といった従業員への特別賞与の引き当て約17億円を実施したことから減益となりました。また情報機器事業、ソフトウェア事業も総じて好調に推移しており、今後もその傾向は継続するとみております。

**質問：加賀FEIが第2四半期比で減益だがその要因はなにか。**

回答：ソシオネクスト製品の販売が伸長し増収となりましたが、スポット販売は期初からの減少が継続し減益となっております。

**質問：部品不足の状況は？スポット販売は今後も継続するのか？**

回答：部品不足は概ね解消されておりますが、車載関連向けの一部製品は不足感が残っております。このような状況の中、部品の購入金額も落ち着いてきており、スポット販売は年度終盤に向けさらに減少していくと考えられます。

**質問：在庫が増加しているが今後の見通しは？**

回答：今期になって在庫が増加しておりますが、部品販売ビジネスにおいてお客様からの依頼により当社で保管している在庫である場合や、EMSビジネスでは部品が1つでも不足すると生産できなくなってしまうことによる在庫になります。当社の在庫は基本のお客様からの発注に紐づくものであり、廃棄損や評価損の発生リスクはありませんが、今期末に向け前年度末同等水準までは減少させていきたいと考えております。

**質問：業績予想・配当予想を上方修正したがその理由は？**

回答：第3四半期が、車載関連や医療機器をはじめ広範な業界向けに販売が高水準で推移したことから業績予想を上方修正いたしました。第4四半期も上振れの傾向が継続すると想定しておりますが、半導体・電子部品の需給動向や為替変動など先行き予断を許さないことから、第3四半期における上振れ分のみ織り込むこととさせていただきます。

併せて、期末配当もこれまでの予想である1株当たり100円から特別配当として20円を積み増し、1株当たり120円に増額修正いたしました。これにより年間の配当金は220円となり、前期実績の120円から100円増配となります。

**質問：2024年3月期見通しはどうか？**

回答：来期は、スポット販売がほとんど無くなるとみていること、並びに客先における在庫調整の動きにより部品需要の減少が見込まれることから、当社業績も厳しい状況になると見込んでいます。一方、経費については、今期に発生した特別賞与・インフレ手当などの人件費増はなくなります。

**質問：トルコ工場における地震被災状況はどうか。**

回答：当社のトルコ工場は、トルコ共和国デュズジェ市に所在しており、震源地から1000km以上離れていることから、特に地震被害はありませんでした。なお、当社では被災された皆様の救援と被災地の復旧・復興に役立てていただくため、義援金として駐日トルコ大使館を通じて1,000万円拠出させていただきました。

<ニュースリリース：トルコ南東部で発生した地震被害へのお見舞いと支援について>

<https://www.taxan.co.jp/news-information/wp-content/uploads/2023/02/20230303r2.pdf>

以上